

授業概要

科目名		義肢装具研究法Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
義肢装具及び関連領域に関する研究を行うにあたり、身体機能の測定及び評価方法を中心に学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義・・・計測機器の概要説明、取り扱い説明。グループワーク・・・計測、データ解析、プレゼンテーション									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
運動及び動作等の客観的評価方法を身につける。特に卒業研究に必要な計測機器の使用方法などを習得する。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション・講義（力の合成と分解、）生体におけるテコ）								
2	計測機器DEMO（バイコン）								
3	計測機器DEMO（ゼブリス・Fscan）								
4	講義（歩行の観察 OGIGの方法）								
5	演習グループによる歩行分析①								
6	演習グループによる歩行分析②								
7	講義（重心の求め方、）重心の速度・加速度）								
8	演習グループによる歩行分析③								
9	演習グループによる歩行分析④								
10	講義（床反力と重心加速度、床反力作用点（C O P）とは何か）								
11	演習グループによる歩行分析⑤								
12	演習グループによる歩行分析⑥								
13	講義（関節モーメントと筋活動、関節モーメントのパワー）								
14	演習グループによる歩行分析⑦								
15	演習グループによる歩行分析⑧								
16	演習グループによる歩行分析⑨								
17	演習グループによる歩行分析⑨								
18	演習グループによる歩行分析⑨								
19	演習グループによる歩行分析⑨								
20	演習グループによる歩行分析⑨								
21	演習グループによる歩行分析⑨								
22	演習グループによる歩行分析⑨								
23	演習グループによる歩行分析⑨								
24	演習歩行分析プレゼン								
25	装具を利用した計測機器の説明①								

2025 年度

授業概要

科目名		義肢装具研究法Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制1年		必修・選択	必修
回数	講義内容								
26	装具を利用した計測機器の説明②								
27	装具を利用した計測機器の説明③								
28	装具を利用した計測機器の説明④								
29	装具を利用した計測機器の説明⑤								
30	装具を利用した計測機器の説明⑥								

【 準備学習・時間外学習 】

特になし

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

課題評価による認定（プレゼン+レポート提出）